御嶽山全域図

御嶽山全域図凡例

△	山　頂（山岳名）
	登山道
	道　路（路線番号）
	川・沢（川・沢名）
届	登山届ポスト
山小屋	山小屋等
危険	危険情報
!	注意喚起情報
距離	火口域からの距離標識

登山をするにあたって

余裕をもった計画をたてよう

- 山登りは朝からはじめ、明るいうちに下山するのが鉄則です。
- 天候が悪い、体調がすぐれないなど悪条件のときには無理に登らず、またの機会を待ちましょう。

出発前の準備と必要な装備

- 登山は登山者の自己責任が原則です。事前にルートや天気、危険箇所、避難施設についてよく調べ、装備を整えてから登山しましょう。

□ヘルメット	□飲み物	□雨具・防寒具
□ヘッドランプ	□非常食	□帽子
□ゴーグル	□救急用品	□手袋
□地図	□緊急連絡票	□ホイッスル
□コンパス	□無線もしくは携帯電話	□携帯トイレ
□自分の名前や連絡先がわかる物	□携帯電話予備バッテリー	

check!
持ち物チェックシート

登山届を必ず提出しよう

- 登山届ポストや県、警察署などへ提出しましょう。

山の中の危険に注意

- 山の中には崖など危険なところがたくさんあります。登山道から外れないよう注意しましょう。また、登山道であっても落石、倒木、スズメバチやマムシなどの危険が身の回りに潜んでいます。

スズメバチに出会ったら
ハチを刺激しないように通りましょう。カチカチと音を立てて何匹も飛んでくる場合は近くに巣がありますので、すみやかに引き返し立ち去りましょう。

気温や天候の変化

- 山岳地域では、急激に気温が下がる場合や天気予報で予測されない天候の変化があります。雲の様子や気温の変化、雷、風、視界などに注意しましょう。

急な増水

- 降雨時に河川や沢沿いを歩くときは、急激に水位が上昇するおそれがありますので、注意しましょう。

噴火や火山ガスに注意

- 何の前ぶれもなく噴火する可能性もありますので、常に火口付近の様子に気を付けましょう。
- 火山ガスは窪地や谷などに溜まっていることがありますので、絶対に立ち入らないでください。

自然公園等の情報

御嶽山県立自然公園

御嶽山県立自然公園は、最高峰の剣ヶ峰（3,067m）、摩利支天（2,959m）、継子岳（2,859m）などがあります。頂上周辺には、一ノ池から五ノ池の5つの火口湖があり、エメラルド色の水をたたえ、また、山頂から濁河温泉周辺にかけては亜高山帯～高山帯の典型的な垂直森林帯を形成しています。御嶽山は古くから信仰の山として崇拝されており、御嶽講と呼ばれる信仰の登山参拝も見られるほか、山岳信仰と民間薬は古くから密接に関係しており、山麓には多くの薬草が生息していたため、多くの胃腸薬があり、百草丸として親しまれています。

自然公園の利用上のマナー

自然公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守りましょう。

- 登山道からはずれないでください。
- 植物や動物をとらないでください。
- 野生動物本来の生態を守るため、餌を与えないでください。
- 入山前にトイレを済ませ、道中は携帯トイレの利用も考えましょう。

火山登山者向けの情報提供ページ

自然公園の多くには、活火山が含まれています。御嶽山は活火山であることに留意し、正しい知識を持つことが大切です。登山前に、最新の噴火警報レベルや火山情報を確認しましょう。

御嶽山の活動状況 QRコード▶
URL https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/312.html

御嶽山の火山観測データ QRコード▶
URL https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=312

御嶽山の火山活動史

過去1万年間の噴火活動

最近2万年間は、水蒸気噴火などの新鮮なマグマを放出しない活動のみと考えられていたが、最近の研究では、過去1万年間に4回のマグマ噴火が発生していることが明らかにされている。

また、水蒸気噴火は数百年に1回の割合で、堆積物として残る規模のものが発生している。1979年噴火以前の歴史記録に残る噴火は発見されていないが、山頂南西の地獄谷における噴気活動は、最近数百年間は継続している。

有史以降の主な火山活動

噴火年代	現象	活動経過・被害状況等
1978～79（昭和53～54）年	地震	5月～。王滝村付近で群発。活動のピークは1978年10月。最大地震は10月7日05:44M5.3。
▲1979(昭和54)年	水蒸気噴火（中規模）	10月28日早朝。火砕物降下。噴火場所は剣ヶ峰(主峰)南斜面小火口群。同夜におさまる。前橋付近まで降灰。山麓で農作物被害。噴出物の総量は約20数万トン。
1984(昭和59)年	地震、(山体崩壊)	9月14日。岩屑なだれ(御嶽崩れ)。場所は御嶽山南南東斜面。「昭和59(1984)年長野県西部地震(M6.8)」。御嶽山頂のやや南方に生じた山崩れは約10km流下して、王滝川に達するなど所々で大規模な崩壊。死者29名、住宅全半壊87棟等。地震活動は数年後にほぼ収まった。
▲1991(平成3)年	水蒸気噴火（ごく小規模）	5月13～16日の間。噴火場所は1979年第7噴火口。4月20日山体直下で地震多発、以後6月まで時々地震多発。4月27日～6月微動多発、特に5月12～16日微動活発。5月20日の現地調査で、1979噴火の第7火口から火山灰を噴出した跡を確認。第7火口はこれまで噴気もなかった。
2006(平成18)年	地殻変動、地震、火山性微動	12月中旬、わずかな山体膨張が始まる。12月下旬、山頂部直下で火山性地震増加、火山性微動発生(以降、2007年3月まで消長を繰り返しながら継続)。
▲2007(平成19)年	水蒸気噴火	1～3月。噴火場所は79-7火口。1月16～17日火山性地震増加。3月16日噴気量増加(三岳黒沢の遠望カメラで山頂部に少量の噴気を確認、以降、ごく少量の噴気が時々認められる)。5月29日の現地調査で、79-7火口北東側約200mの範囲に79-7火口から噴出した火山灰を確認(噴火発生日は不明)。地震波等の研究から、御嶽山直下へのマグマ貫入(深さ4kmまで上昇)に伴って山頂直下の地震が発生。
▲2014(平成26)年	水蒸気噴火	9月27日11時52分頃噴火。噴火場所は剣ヶ峰南西斜面の火口列。大きな噴石が火口列から約1kmの範囲に飛散。火砕流が火口列から南西方向に約2.5km、北西方向に約1.5kmまで流下。噴火直後、二酸化硫黄の放出量は1日あたり約500～1500トンを観測。死者・行方不明者あわせて63名。

※気象庁ホームページより　※▲は噴火年を示す。

御嶽山全域図

登山道の状況について

○岐阜県が独自に調査した箇所について表示しています。
なお、2014年の噴火に伴う立入規制範囲内（火口から概ね1kmの範囲）は、調査を実施していません。
○登山道の状況は2016年8～10月に行った調査結果です。
○登山道の状態は、天候等の影響により変動することがありますので、注意しましょう。
○御嶽山噴火に伴う立入規制の最新情報は、市町村のHP等でご確認ください。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用した。（承認番号　平28情使、第968号）

調製：東海図版株式会社

観光情報

※令和4年3月時点のものを記載しています。

高山市 -takayama-

御岳自然休養林 胡桃島キャンプ場
岐阜県高山市朝日町胡桃島

標高1,850メートルの高所にある胡桃島キャンプ場。目前に雄大な御嶽山がそびえ、森林浴、バードウォッチング、美しい紅葉など、四季折々の魅力がダイナミックに満喫できます。充実した設備の整ったコテージも7棟あります。

開 キャンプサイト 5月から10月 ／ コテージ 4月から10月 ／ オートサイト 6月から9月 ※積雪状況等により変更する場合があります。
¥ 入場料大人500円（小人300円）
キャンプサイト1区画2,600円 ／ コテージ11,300円から
☎ 0576-62-3349　P 約60台（無料）
交 JR高山駅より、車で美女街道、国道361号経由80分

日和田高原ロッジ・キャンプ場
岐阜県高山市高根町日和田高原

御嶽山の麓、白樺林に囲まれたキャンプ場。さわやかな夏のキャンプはもとより、高地トレーニング施設も充実しており、合宿などにも利用できます。

開 冬季休館
¥ センターロッジ（1泊2食）7,400円から
フリーキャンプサイト1区画2,900円から
P 約20台（無料）　☎ 0577-59-2510
交 JR高山駅より、車で美女街道、国道361号経由70分

塩沢温泉七峰館
岐阜県高山市高根町上ヶ洞290

山奥の温泉宿、そんな言葉がぴったりくる七峰館。飛騨川のせせらぎと、みどりの木々に包まれた温泉旅館です。（泉質：含二酸化炭素、ナトリウム・カルシウム、炭酸水素塩温泉）

休 定休日：毎週水曜日（年末年始休みあり）
¥ 1泊2食 9,900円から
飛騨牛づくしプラン 1泊2食 15,000円から
P 約15台（無料）　☎ 0577-59-2326
交 JR久々野駅より車で30分

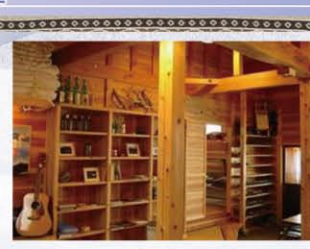
下呂市 -gero- 御嶽山の山小屋

御嶽山 飛騨頂上「五の池小屋」

濁河温泉登山口から約3時間45分かけて御嶽山を登ると、飛騨頂上（標高2,811m）に到達。飛騨頂上は360度の大パノラマで、空気が澄んだ日には富士山や白山が一直線上に見える絶景スポットです。

その飛騨山頂「五ノ池」付近には、山小屋「五の池小屋」があります。ここは、飛騨側登山口9合目に位置し、神秘的なご来光や満々と水を湛えたコバルトブルーの「三ノ池」、高山植物の宝庫である「四ノ池」の散策などの基点となる施設で、シーズン中は多くの登山者で賑わいます。

開 毎年5月下旬から10月中旬
宿 収容人数：80人
¥ 五の池小屋ホームページ参照
☎ ご予約先：090-7612-2458
（五の池小屋 業務専用携帯）
http://gonoike.jp/



二の池ヒュッテ

2018年夏に二の池ヒュッテとしてリニューアルオープンしました。飛騨頂上から45分、剣ヶ峰から20分、御嶽山の真ん中に位置します。

御嶽山北部の緑と南部の火山、両方の魅力を堪能できる場所です。

小屋の前からは朝陽と夕陽が臨め、3,000m峰ならではの満天の星空が登山者を迎えてくれます。

是非山中へお泊り頂き、御嶽山の魅力を堪能してください。

開 7月1日～10月中旬
宿 収容人数：50人
¥ 1泊2食：11,000円　素泊り：7,700円
（中学生以下1,000円引き）
☎ ご予約先：090-4368-1787（小屋直通）
080-2250-8008（営業期間外）
https://www.ninoikehutte.com/

下呂市 -gero-

濁河温泉
岐阜県下呂市小坂町落合濁河

通年営業する温泉地としては、日本で最も高所に位置する温泉の一つであり、御嶽山への飛騨側登山口として登山者に利用されています。濁河温泉までの道中（県道441号線）は、御嶽パノラマラインと呼ばれ、御嶽山や日本一長い溶岩流が一望できるという絶景スポットです。初夏や紅葉の時期のドライブは特におススメです。

☎ 0576-62-2570（飛騨小坂観光協会）
http://hidaosaka-kanko.com/

濁河温泉 市営露天風呂
岐阜県下呂市小坂町落合濁河

御嶽山の中腹に位置する濁河温泉内にある市営露天風呂。男女別に開放的で大きな浴槽があり、泉質は炭酸水素塩泉。神経痛や動脈硬化症、高血圧症などに効果があります。この泉質、雰囲気を求めて遠方から濁河温泉を訪れる方が多くあります。また、登山者の下山後のリフレッシュとしても大変人気です。

¥ 大人600円、小学生300円　時 11時～19時
☎ 0576-62-3373（営業時間内）　P 20台（無料）、大型バス不可
FAX 0576-62-5265
https://httpsnigorigo-onsen.jimdofree.com

小坂の滝めぐり
岐阜県下呂市小坂町

小坂町には5m以上の滝が200箇所以上あり、その多くは御嶽山の噴火による溶岩によって作られています。春は新緑の息吹を感じ、夏は五体を涼味で満たし、秋は赤や黄色に染まるふわふわの大地を踏みしめ、冬はかんじきで凍った滝めぐりなど四季折々にお楽しみいただけます。清流の飛沫が創りだす虹や野生動物に出逢えるなど五感を刺激する世界が待ち受けています。

※滝めぐりのコースによっては、事前の手続きや予約が必要です。詳細はNPO法人飛騨小坂200滝までお問い合わせください。

¥ ガイド（有料）　☎ 0576-62-2215（NPO法人飛騨小坂200滝）　URL https://www.osaka-taki.com/（小坂滝めぐり）